

## 意見概要及び答申案一覧(第2部会)

No.	政策等	項目	意見概要	素案 旧P	素案 新P	答申案
1	政策①ずっと安心して暮らせるまち	現状と課題	生活に困難を抱える方についての視点を現状と課題へ盛り込むべき。	64	66	生活に困難を抱える方に関する現状と課題について、記述の追加を検討されたい。
2	政策①ずっと安心して暮らせるまち	施策1	生活困窮者への支援について、市の担う「セーフティネット」としての責任は大きい。明文化すべき。	68	71	生活困窮者への支援に関し、市の担うセーフティネットとしての役割は重要であるため、記述の追加を検討されたい。
3	政策①ずっと安心して暮らせるまち	施策2	「医療・介護のネットワーク形成」について、地域を支える人材と専門性を持った人材、両方の観点から人材育成を考える必要がある。	68	71	「医療・介護のネットワーク形成」について、地域を支える人材と専門性を持った人材、両方の観点から人材育成を図られたい。
4	政策①ずっと安心して暮らせるまち	施策4	大きい病院の機能が麻痺し、必要な医療を受けられない人が出ないように、かかりつけ医を持つことを推進したい。	68 69	72	基幹病院とかかりつけ医の役割分担や、在宅医療の推進などにより、必要な人が必要な医療を受けられることを推進するという視点について、記述を検討されたい。
5	政策②子どもを安心して産み育てられるまち	8年後の姿	多様な家族形態の中においても、子どもが安心して育つことのできる環境が整っており、子育てしやすい職場や、安定した収入を得られるような就労の場があるまちになっている、という姿を盛り込むべき。	70	73	8年後には多様な家族形態の中においても、子どもが安心して育つことのできる環境が整っているという視点について、記述の追加を検討されたい。
6	政策②子どもを安心して産み育てられるまち	8年後の姿	出生率が増加し、子どもが多い活気あるまちになるため、子どものいる女性が安心して働けるような環境づくりが重要。	70	73	出生率が増加し、子どもが多く活気あるまちになるためには、子どものいる女性が安心して働けるような環境づくりが重要であることから、記述の追加を検討されたい。
7	政策②子どもを安心して産み育てられるまち	施策6	若い子どもを育てる親の大きな不安は、医療そのものについてであるため、子どもの医療体制について不安が取り除かれるようすべき。施策6「妊娠・出産・子育ての一貫した支援」の中に医療の支援を盛り込んでどうか。	75	78	子どもの医療体制については、子育てに関する大きな不安となっているため、医療への支援について記述の追加を検討されたい。
8	政策②子どもを安心して産み育てられるまち	施策6	子育てを地域で支えるということは必要不可欠であり、施策6に「人の力」・「市民の力」・「地域の力」という文言を追加してどうか。	75	78	子育てを地域で支えるということが必要不可欠であり、「人の力」・「市民の力」・「地域の力」という視点について、記述の追加を検討されたい。
9	政策③学・社・民の融合による教育を推進するまち	8年後の姿	子どもの中には、どんなに頑張っても伸びない子や、掲げている目標に自信がもてない子もいるので、「学力・体力に自信をもち」を「自分の力に自信をもち」という表現にしてはどうか。	76	79	8年後の姿で記載されている「学力・体力」だけが子どもの自信につながる訳ではないことから、「自分の力に自信をもち」という表現に修正されたい。
10	政策③学・社・民の融合による教育を推進するまち	施策8	地域に対する愛着や地域を愛する心を育むという視点を、教育の政策の中に盛り込んでどうか。	76	79	地域に対する愛着や地域を愛する心を育むという視点について、記述を検討されたい。
11	政策③学・社・民の融合による教育を推進するまち	施策8	現状と課題が農業体験だけの記載になっているが、「学・社・民の融合で、キャリア教育のより具体的な大人像を示す必要がある」、など農業だけではないことを明記してはどうか。	76	82	さまざまな「大人像」を示すため、キャリア教育を推進する視点について、記述を検討されたい。
12	政策③学・社・民の融合による教育を推進するまち	施策9	現状と課題で、若者の人口流出を抑え、若者をまちの活性化につなげること、について取り上げているが、解決に向けた施策がないため、若者との協働によるまちの活性化の支援について盛り込んでどうか。	79	82	若者の人口流出抑制のための支援がまちの活性化につながるという視点について、記述の追加を検討されたい。
13	政策④地域力・市民力が伸びるまち	施策13	ボランティアなどの人材育成を支援するというような視点と、ボランティアを協働の相手として盛り込んでどうか。また、施策13にある「市民活動支援センター」が協働の担い手となるのは疑問であるがどうか。	83	86	ボランティアなどの人材育成を支援する視点や、ボランティアを協働の相手とする視点について、記述を検討されたい。
14	政策③学・社・民の融合による教育を推進するまち	全体	子どもの人権が守られるという言葉を政策の中に盛り込んでどうか。	-	7	人権尊重と男女共同参画社会の実現により、性別や年齢に関わらず安心して暮らせる社会という視点について、計画全体を確認し、記述の必要性について検討されたい。
15	基本構想	まちづくりの理念	市民一人ひとりの個性や多様な生き方を認め合う人権尊重の考え方からすると、「81万市民の総力を結集し」はそぐわないため、「81万市民がそれぞれ立場で、市民力・地域力」としてはどうか。	6	7	
16	基本構想	まちづくりの理念	「将来の世代に引き継いでいかなければなりません。」の後ろに「新潟市に生まれ、育ち、学び、働き、活動する市民一人ひとりが、住んでよかった、ずっと住み続けたいと思える「暮らし」を実現します。全ての市民の人権が尊重される暮らしを実現するためには、男女共同参画を進め、一人ひとりの個性と能力を引き出していく必要があります。」と追加記載してはどうか。	6	7	
17	基本構想	まちづくりの理念	「さらに学び続ける市民が男女共同参画で新しい力を」と追加記載してはどうか。	6	7	
18	基本構想	都市像Ⅰ	「都市像Ⅰ市民と地域が学び高め合う、安心協働都市」を「都市像Ⅰ市民が男女共同で学び高め合う、安心協働都市」と変更してはどうか。	7	7	
19	基本構想	都市像Ⅰ	都市像Ⅰ「地域の住民がお互いに助け合い、男女共同参画がすすみ、市民一人ひとりが住み慣れた地域で」と追加記載してはどうか。	7	7	
20	基本構想	都市像Ⅰ	都市像Ⅰ「学・社・民の融合による教育の推進とともに」を「学・社・民の融合による男女平等教育や人権教育を推進とともに」と変更してはどうか。	7	7	
21	基本構想	都市像Ⅰ	都市像Ⅰ「子どもから高齢者まで共に生涯楽しく元気に暮らすまち」を「子どもから高齢者まで多様な生き方が認められるまち」と変更してはどうか。	7	7	